



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日
東

上場会社名 ダイニック株式会社 上場取引所
 コード番号 3551 URL <https://www.dynic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 英伸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部門統括 (氏名) 新家 隆 (TEL) 03-5402-3132
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	31,394	8.6	561	△46.5	880	△28.9	587	△39.2
2022年3月期第3四半期	28,904	9.1	1,048	114.1	1,238	113.5	967	207.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,024百万円(72.7%) 2022年3月期第3四半期 1,172百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	69.93	—
2022年3月期第3四半期	114.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	59,986	23,342	38.3
2022年3月期	54,185	21,599	39.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 22,996百万円 2022年3月期 21,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	7.8	1,350	△6.5	1,550	△4.0	900	△6.3	106.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,504,747株	2022年3月期	8,504,747株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	139,049株	2022年3月期	30,445株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	8,399,205株	2022年3月期3Q	8,474,372株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(表示方法の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染状況が依然として高い水準で推移しているものの、行動制限が緩和され、社会経済活動が正常化し、景気回復の兆しが見えてまいりました。一方でロシア・ウクライナ情勢による原材料及び燃料価格の高騰、中国のロックダウンによるサプライチェーンの混乱、世界的なインフレや為替変動等、先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、イベント需要の回復をはじめ経済活動の正常化が進む中で国内市況が改善し、海外市場も堅調に推移していることで、前年同期比では増収となりました。利益面では、原材料及び燃料価格の高騰が販売価格に反映し切れておらず、営業利益が前年同期比で減益となりました。

その結果、売上高は31,394百万円（前年同期比8.6%増）となりました。利益面につきましては、営業利益が561百万円（前年同期比46.5%減）、経常利益が880百万円（前年同期比28.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は587百万円（前年同期比39.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して5,800百万円増加し、59,986百万円となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が1,938百万円、投資有価証券が1,044百万円、現金及び預金が739百万円、商品及び製品が614百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して4,058百万円増加し、36,644百万円となりました。これは主に短期借入金が2,274百万円、支払手形及び買掛金が1,795百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1,742百万円増加し、23,342百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が726百万円、その他有価証券評価差額金が704百万円、利益剰余金が376百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2022年5月16日発表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,985,773	4,724,589
受取手形、売掛金及び契約資産	7,768,518	9,706,051
電子記録債権	4,415,187	4,816,190
商品及び製品	4,231,076	4,844,721
仕掛品	1,204,251	1,399,239
原材料及び貯蔵品	2,388,253	2,843,669
その他	610,141	695,421
貸倒引当金	△19,124	△22,526
流動資産合計	24,584,075	29,007,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,950,415	17,398,386
減価償却累計額	△11,667,260	△12,158,746
建物及び構築物（純額）	5,283,155	5,239,640
機械装置及び運搬具	23,736,927	24,895,101
減価償却累計額	△20,347,847	△21,155,560
機械装置及び運搬具（純額）	3,389,080	3,739,541
工具、器具及び備品	3,110,455	3,131,840
減価償却累計額	△2,806,952	△2,871,534
工具、器具及び備品（純額）	303,503	260,306
土地	10,241,555	10,369,454
リース資産	322,050	385,906
減価償却累計額	△158,049	△169,976
リース資産（純額）	164,001	215,930
使用権資産	251,117	283,295
減価償却累計額	△95,643	△137,447
使用権資産（純額）	155,474	145,848
建設仮勘定	479,307	353,362
有形固定資産合計	20,016,075	20,324,081
無形固定資産		
のれん	26,322	15,041
その他	63,660	86,694
無形固定資産合計	89,982	101,735
投資その他の資産		
投資有価証券	5,282,112	6,326,066
退職給付に係る資産	729,552	815,172
繰延税金資産	226,620	235,414
投資不動産	3,829,646	3,833,894
減価償却累計額	△1,000,711	△1,040,444
投資不動産（純額）	2,828,935	2,793,450
長期貸付金	1,312	937
その他	445,755	401,771
貸倒引当金	△19,037	△20,361
投資その他の資産合計	9,495,249	10,552,449
固定資産合計	29,601,306	30,978,265
資産合計	54,185,381	59,985,619

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,808,611	9,604,000
短期借入金	13,163,310	15,436,934
リース債務	97,461	105,823
未払法人税等	278,811	122,999
賞与引当金	402,906	290,963
役員賞与引当金	24,050	14,578
設備関係支払手形	367,068	429,595
その他	1,073,725	1,153,077
流動負債合計	23,215,942	27,157,969
固定負債		
長期借入金	5,726,840	5,555,000
リース債務	242,695	270,707
繰延税金負債	1,567,487	1,805,203
再評価に係る繰延税金負債	1,298,595	1,298,595
環境対策引当金	9,309	9,309
退職給付に係る負債	334,107	356,654
その他	191,046	190,489
固定負債合計	9,370,079	9,485,957
負債合計	32,586,021	36,643,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,795,651	5,795,651
資本剰余金	944,696	944,696
利益剰余金	10,076,761	10,452,294
自己株式	△32,983	△102,952
株主資本合計	16,784,125	17,089,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,341,347	2,045,459
土地再評価差額金	2,799,017	2,799,017
為替換算調整勘定	156,375	882,424
退職給付に係る調整累計額	190,810	179,457
その他の包括利益累計額合計	4,487,549	5,906,357
非支配株主持分	327,686	345,647
純資産合計	21,599,360	23,341,693
負債純資産合計	54,185,381	59,985,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	28,904,114	31,393,750
売上原価	23,413,906	26,013,053
売上総利益	5,490,208	5,380,697
販売費及び一般管理費	4,442,235	4,820,093
営業利益	1,047,973	560,604
営業外収益		
受取利息	18,364	17,469
受取配当金	105,032	131,018
受取賃貸料	174,053	187,914
為替差益	—	19,585
雑収入	165,742	242,754
営業外収益合計	463,191	598,740
営業外費用		
支払利息	101,723	118,887
賃貸費用	110,202	106,505
為替差損	8,013	—
雑損失	53,397	54,112
営業外費用合計	273,335	279,504
経常利益	1,237,829	879,840
特別利益		
固定資産売却益	2,305	3,464
投資有価証券売却益	5,550	—
補助金収入	197,291	46,370
受取保険金	127,517	—
特別利益合計	332,663	49,834
特別損失		
固定資産売却損	268	—
固定資産処分損	19,807	76,551
新型コロナウイルス感染症による損失	200,260	73,457
特別損失合計	220,335	150,008
税金等調整前四半期純利益	1,350,157	779,666
法人税等	427,107	229,319
四半期純利益	923,050	550,347
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△43,547	△37,044
親会社株主に帰属する四半期純利益	966,597	587,391

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	923,050	550,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,794	704,112
為替換算調整勘定	298,918	764,310
退職給付に係る調整額	△33,100	△11,353
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,037	16,744
その他の包括利益合計	248,987	1,473,813
四半期包括利益	1,172,037	2,024,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,195,506	2,006,199
非支配株主に係る四半期包括利益	△23,469	17,961

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において「営業外費用」の「雑損失」に含めていた「賃貸費用」は、金額的重要性が高まったこと及び「営業外収益」の「受取賃貸料」との対応を明瞭にし、より実態に即した表示にするため、第1四半期連結会計期間より「賃貸費用」として独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「雑損失」に表示していた163,599千円は、「賃貸費用」110,202千円と「雑損失」53,397千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	印刷情報 関連事業	住生活 環境関連 事業	包材関連 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	13,047,310	9,108,450	5,155,711	27,311,471	1,592,643	—	28,904,114
セグメント間の内部売上高 又は振替高	145,090	560	153	145,803	800,183	△945,986	—
計	13,192,400	9,109,010	5,155,864	27,457,274	2,392,826	△945,986	28,904,114
セグメント利益	1,060,248	250,081	354,084	1,664,413	59,649	△676,089	1,047,973

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファンシー商品及び運送・庫内整理等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△676,089千円には、セグメント間取引高消去48,226千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△724,315千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	印刷情報 関連事業	住生活 環境関連 事業	包材関連 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	14,476,892	9,814,502	5,496,119	29,787,513	1,606,237	—	31,393,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	195,457	14,497	158	210,112	827,552	△1,037,664	—
計	14,672,349	9,828,999	5,496,277	29,997,625	2,433,789	△1,037,664	31,393,750
セグメント利益	941,382	33,204	213,433	1,188,019	62,869	△690,284	560,604

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファンシー商品及び運送・庫内整理等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△690,284千円には、セグメント間取引高消去44,152千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△734,436千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。